

黒部市長メッセージ(第6弾)

《人に優しいまちづくりを推進！！》

新型コロナウイルス感染症の終息見通しが立たない中、1月7日に東京都及び神奈川県、千葉県、埼玉県を対象に緊急事態宣言が再度発令されました。

本県においても感染者が増加傾向を示し、昨年12月25日の富山アラート発令後もその勢いは緩まる気配がありません。1月7日現在で累計656名を数え、感染症流行期とあいまって、あらためて重大な危機感を覚えています。

今後の感染拡大を食い止め、今よりも強い自粛要請につながる事態を避けるためにも、改めて、次のことを強く意識し、取り組みましょう。

1 新しい生活様式の徹底と感染リスクの回避について

3密（密閉、密集、密接）を避けるとともに、手指消毒とマスクの着用や人と人との距離の確保、食事の際は大声を出さないなど、「新しい生活様式」の徹底をお願いします。

また、感染リスクが高まる「5つの場面」として、「飲酒を伴う懇親会等」、「大人数や長時間におよぶ飲食」、「マスクなしでの会話」、「狭い空間での共同生活」、「居場所の切り替わり」が示されました。このような場面はできるだけ避けていただき、感染症に「かからない」、「ひろめない」を意識した行動をお願いします。

仮に、友人や親族と会食する際には、とやまスタイルの「ますずし」の実践をお願いします。

『ますずし』の実践

(富山スタイルの会食を楽しみましょう)

- ま マスクつけ
- す すぐに手洗い、飲む量抑え
- ず 少ない人数
- し 静かに食べる

2 感染者が多く発生している地域との往来について

引き続き、県外との往来は緊要度を考慮して慎重に判断され、移動が必要な場合は感染予防を徹底し、節度ある行動をお願いします。

なお、緊急事態宣言の対象地域である1都3県との往来は、必要な場合を除き延期または自粛をお願いします。

3 医療業務従事者並びに感染者への思いやりをもった対応について

献身的に従事されている医師・看護師等の医療業務従事者に対し、励ましと労いの気持ちを込めた温かな応援をお願いします。

また、感染者やその家族には思いやりの気持ちをもって対応され、決して個人情報詮索や誹謗中傷などを行わないよう、強くお願いします。

感染症の終息に向け、一人ひとりが国や県、市が発出する情報を「正しく理解」し、「正しく恐れ、備える」ことを基本に、冷静な対応と責任ある行動が求められています。

市民のみなさまには、しばらくの間、制約ある生活をお願いし、ご不便をおかけすることになりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和3年1月8日

新型コロナウイルス感染症対策本部長
黒部市長 大野久芳